

受動喫煙による健康被害への対策を

町長 今後も町報等で周知し、受動喫煙防止に取り組む



菅原俊一 議員

受動喫煙防止の対策を

問

オリンピック開催を控え、国は受動喫煙対策に本腰を入れる。町としての対策は。

町長

「白鷹町受動喫煙防止宣言」を行った。町公共施設の建物内禁煙率は9割以上となり、健康教室などで禁煙に向けた相談も行っている。健康に大きな影響があると言われていて、今後も町報などで周知しながら受動喫煙防止に取り組んでいきたい。

「子どもの健康づくり健診」の結果と対策は

問

今年度、希望者を対象に実施した健診の結果と今後の対策は。

健康福祉課長

98人が健診を受け、指導や受診が必要とされた人は37・8%。脂質異常が最多で、次いで貧血や高尿酸など、生活習慣を早急に改善しないと発病が心配される状況が見受けられた。親の生活習慣が反映されることから親子一緒に生活の改善ができるようにしていく。

※ABC健診の実施を

問

特定健診の余剰血液でABC健診の実施を。

健康福祉課長

特定健診と同時に実施するのが一番良いと考えるが、導入については国や他市町村の動向をみて今後十分に検討する。

特定保健指導受講率向上の方策は

問

特定保健指導の受講率が低い。夜や土日に行うなど工夫してはどうか。

健康福祉課長

結果の説明が平日に行われている。今後は夜間や土日の開催も設定して、より多くの方が参加できるようにしていく。

緊急情報メール配信拡大とFAXサービス

問

希望者への緊急情報等のメール配信とFAX送信サービスを。

町長

メールは対象を広げべく検討していく。FAXサービスは

総務課長

本町のニーズに合った内容でできるか、実現に向けて検討を進めていきたい。

今後増加する免許証返納者への対策は

問

デマンドタクシー利用拡大の工夫を。

町長

現在デマンドを利用しての方と返納された方への支援との公平性を考えながら取り組んでいく。

※ABC健診は、胃がんのリスクの原因となるピロリ菌の感染と胃の萎縮状況をABCDの4群に分類して評価する健診です。

